

パパからもらった宝もの

公演のご報告

会場：東京都児童会館

日時：6月28日(日)

- 主催 第8回日本再生医療学会総会
- 共催 移植・再生医療を支える会
- 協賛 株式会社わかさ生活
- 後援 慶應義塾大学医学部眼科学教室

—光を求める人々と、それを支える医療スタッフを描く—

第8回 日本再生医療学会総会 市民公開講座

パパからもらった宝もの

脚本：坂本あゆ美 演出：青砥洋

2009年
6月28日(日) ●15時30分開演 ●16時開演

東京都児童会館

入場：無料
定員：680名

※先着順（お席がなくなり次第受付終了となります。）
●3歳以下の子どもはご入場できません。

原作：坪田一男
出演：劇団 BOP
児童劇団「大きな夢」

主催：第8回日本再生医療学会総会
共催：移植・再生医療を支える会
協賛：株式会社わかさ生活
協賛：慶應義塾大学医学部眼科学教室
後援：株式会社わかさ生活、慶應義塾大学医学部眼科学教室
企画・制作：児童劇団大きな夢、メディアブローカーズ

知っているか？アイバンクのこと。
年間2万例の角膜が必要と予測される日本で、角膜の移植件数は年間1000例程度、多くの患者さんが移植できない状態です。

パパからもらった宝もの

第8回日本再生医療学会総会
市民公開講座

キリトリ

ご招待券

●当日は、こちらの「ご招待券」を切り取り、ご持参ください。

2009年6月28日(日) 15時30分開演 / 16時開演 入場：無料 定員：680名

●先着順（お席がなくなり次第受付終了となります。） ●3歳以下の子どもはご入場できません。
下記の人等には、移植・再生医療を支える会が優先的に、お二人様ずつこのご招待券一枚を配ります。

お名前	
住所	〒
e-mail	

株式会社わかさ生活 ●主催 第8回日本再生医療学会総会 ●共催 移植・再生医療を支える会
株式会社わかさ生活 ●協賛 慶應義塾大学医学部眼科学教室
●企画 坂本あゆ美 ●演出 青砥洋 ●原作 坪田一男 ●出演 劇団BOP 児童劇団「大きな夢」

アクセス 会場：東京都児童会館
<http://www.kids.hokan.metro.tokyo.jp/job/>
〒150-0002 東京都渋谷区1-18-24

〒150-0002 東京都渋谷区1-18-24

TEL: 03-5776-8076
e-mail: hokan@metro.tokyo.jp URL: http://www.kids.jp

パパからもらった宝もの



2009年6月28日（日）東京都児童会館にて第8回日本再生医療学会総会
市民公開講座、ミュージカル「パパからもらった宝もの」が公演されました。
当日は500名を超える方々にご来場いただき、盛会に終えることができました。

多くの方から「アイバンク、角膜移植についてよくわかった」「感動で涙が
とまらなかった」との感想をいただきました。

公演にあたり、ご協力、ご賛同いただきました皆様、ご来場いただいた皆様、
ありがとうございました。



パパからもらった宝もの

お客様の声

26歳 女性

再生医療なので、作った角膜を移植しているのかと思っていましたが、ミュージカルを通して、亡くなった方の角膜を移植していることを知りました。私も将来ドナーになろうかと考えさせられました。

64歳 女性

目の大切さを改めて認識いたしました。また角膜移植のドナー探しも大変なことと思いますが、必要性を感じました。

33歳 男性

コーディネーターを中心に第三者の視点でから移植を伝える手法がわかりやすいと思いました。自分も仕事で貢献できるよう続けたいと思いました。

48歳 男性

アイバンクコーディネーターの役割や角膜移植の歴史などがよく理解できました。

パパからもらった宝もの

お客様の声

35歳 女性

大変感動いたしました。眼科医として初心に戻って明日から働こうと思いました。

7歳 女性

目は大切にします！

40歳 女性

公演を見たのは2度目でしたが、キャストイングが変わったからか、前回以上に涙が出てきました。自分の体の一部がどんな形でも死んだあとに苦しんでいる人の役に立てれば・・・一人一人が真剣に考えられる世の中になればよいと思いました。

55歳 女性

「見える」ということが素晴らしいことであるということを知りました。ドナーの気持ち、レシピエントの気持ち、各々いろいろあるのだと思いました。

パパからもらった宝もの

お客様の声

63歳 女性

現在63歳、いつになるかわかりませんが、角膜を残したい、と日々思っている私です。視力も1.2はあるのであまり悪くはないはずです。とても心を入れて見ることができました。今まで以上に残したく感じました。

57歳 男性

それぞれの家族の気持ち、そして医師たちの希望が良く分かるよいミュージカルでした。セリフもわかりやすく音楽も感動的でした。

73歳 男性

最初は軽い気持ちで見せていただきましたが、なんのなんの感激、感動、そして涙の良い劇を見せていただきました。光のリレー、人と人とのつながり。良い作品でした。